

(別紙4(2))

事業所名 グループホームいこいの家

目標達成計画

作成日: 令和2年 3月31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	○利用者同士の関係の支援 利用者個々の認知症状の違い、生活歴の違いでの格差があり、利用者同士の言い合いなどがふえてきている。	スタッフの声掛けの工夫。利用者同士の会話の間に入る際の対応方法の工夫。重度化に伴って軽度の方との交流や会話が成り立たなくなっているため、それぞれの方の尊厳を守りながら、どうしたら個々の居場所を確保出来るか、また居室にこもらない様にするにはどうしたらいいのか。	利用者同士の会話やコミュニケーションの機会を増やす。家族へ積極的に現状把握のための連携、報告、確認を取っています。共同生活の継続が不可能な事態になれば、契約破棄の選択肢もあり得ますが、重大事になる前にスタッフ間で密に話し合い、共同スペースの工夫や、情報共有を行っている。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。